

あとがき

今の子どもたちが過ごしている社会は、情報や物、人間関係などにおいて、私の小学校時代とは大きく異なり変化し続けています。しかし、子どもたちを取り巻く状況が異なっても、計算が素早く正しくできるようになって喜んでい子、鉄棒で逆上がりができるようになって目を輝かせている子、他の人のために進んで行動できたことを嬉しく感じている子など、子どもたちは日々の学校生活を通して頭も心も身体も成長させています。

では、時代を超えて子どもたちの健やかな成長のために大切なことは何なのでしょう。それは、教師自身の在り方だと考えています。なぜなら、子どもたちにとって私たち教師が最大の学習環境であり、物には代えられない心の教育を行うことができるからです。教師の豊かなものの見方や考え方、大らかな広い心、美しいものを美しいと感じる心など、私たちの心の動きに感化されて、子どもたちは更に成長していきます。

情報が氾濫し、多様な価値観が溢れている今だからこそ、子どもたちや教師の心の教育の在り方に目を向けなければならぬと感じています。

さて、今年度、本教育研究所では、児童生徒の道徳性を高めるための取組やよりよい道徳教育の推進のために、教育現場ですぐに活用できる情報を提供していきたいと考え、「道徳教育の基礎・基本」という内容で1年次目の研究をまとめました。本紀要をご一読いただき、ぜひとも、日常の教育現場でご活用いただければ幸いです。

「分かっているようで分かっていないことも、よく理解できた。」「実践してみると、少しずつ子どもたちの様子が変わってきた。」という声が少しでも聞こえてくるよう、次年度以降も道徳教育に関する具体的な取組や実践事例をまとめ、平成30・31年の完全実施に向けた情報発信をしていきたいと考えております。今後とも、胆振教育研究所に対するご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

担当所員 山下 亘

平成27年度 研究紀要 217号

【研究主題】

子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実

～道徳科を要とした取組を通して～ 1年次

発行年月日 平成28年 2月 日

発行 胆振教育研究所

代表者 所長 安宅 錦也

印刷 デザインワーク・エーヂ

